

令和7年度 第1回 高知県公共事業再評価委員会  
議事要旨

令和8年2月3日（火）10:00～12:00  
高知会館「やまももの間」

道路改築事業（国道493号北川道路1工区）【事業再評価】

◆主な意見等

委員：B/C算出時に、現道の防災対策費の控除をしているが、旧道となる区間を利用する通行者への対応として、防災対策費を控除して良いか。

道路課：交通量が少ないと想定される旧道区間について、落石を防ぐために必要な費用を控除している。  
整備後も旧道の日常的な維持管理は必要と認識。

委員：労務・資材単価変動額の内訳は、建設業界の人手不足・資材調達が危ぶまれるなか、令和17年度の事業期間は変わらないか。

道路課：労務・機械約3割、資材約7割の内訳。完成期限は予算確保、工事工程が順調に進んだ場合を想定。今後、情勢変化により、変更がある場合には当会に諮らさせていただく。

委員：今後、事業遅延に伴うコスト増については説明責任が必要。今後もしっかりと工事進捗を管理し、遅延なく工事を実施いただきたい。

道路課：承知した。

委員：切土量を削減して残土量を減らすことは環境面にとっても良いこと。  
今後も同対応ができる計画があればお願ひしたい。

道路課：承知した。

委員：この道路は繋がることで効果を発現するもの。南海トラフ地震対策として早期整備に努めてほしい。

道路課：承知した。

## 事業間連携河川事業（国分川外 13 河川）【事業再評価】

### ◆主な意見等

委 員：高知市被害想定額（L2 地震）は当整備が完成したうえでの被害額か。

河川課：整備がされていない条件での被害額。

委 員：増額要因である調査設計費の具体的な内容は。詳細調査を実施することで今後、工法変更による増額は抑えることができるのか。  
工事の過程で増額となることが多いため、精度の高い調査に努めること。

河川課：L1 津波対策の嵩上げや堤防の変形を抑える追加対策として必要となる、地質調査、土質試験、堤防の変形解析を行うもの。精緻な調査設計を実施し、より現場条件に応じた設計に努める。

委 員：圧入工が硬質地盤用圧入工に変更となっているが、調査時点でどの程度見込めていたものなのか。追加対策の事業期間が令和 55 年度から 29 年度に短縮されているが、これ以上の短縮は可能か。

河川課：工法変更は地質調査を予め実施しているが、地質調査では把握できない玉石層や既設護岸が確認され、工法変更となったもの。  
できる限り精度の高い調査に努める。  
県の重要施策であり、予算も集中投資していることから事業期間を見直したもの。今後も不確定要素はあるが、早期事業完成に努める。

委 員：県都高知市を守る非常に重要な事業。早期整備に努めてほしい。

河川課：承知した。

委 員：重点区間の一部で事業遅延が生じた場合、他の重点区間に予算を割り振る対応は可能か。

河川課：比較的容易な嵩上げ工事で完成する重点区間 1 を優先するが、順調に進まない場合には他の重点区間を進めるなど柔軟な対応は必要と考えている。

委 員：被災後の復興対策についても防災担当と連携して進めていただきたい。

河川課：承知した。